

平成24年度 事業報告書

1. 事業の状況

1. 基本方針について

公益財団法人佐世保市体育協会は、定款に基づき、佐世保市民のアマチュアスポーツの統一組織としてスポーツを振興し、市民の体位、体力の向上を図り、スポーツ精神を養い、社会体育の発展に寄与することを目的として各種事業を推進した。

佐世保市及び長崎県の指定管理者として、安全で快適な施設の提供を行うとともに、施設の有効活用を図り、誰でも安心してスポーツに親しむことができる環境づくりを目標に取り組んだ。

また、平成24年度は公益財団法人として初年度にあたり、公共的な役割を意識し、スポーツを振興する団体として、市民や利用者及び関係団体と更なる信頼を構築すると共に、子供たちの健全育成を図る事業を推進し、地域住民との連携を深めた。

2. 管理代行施設等の管理運営について

次の5つの運営方針に則り、(1)～(4)までの佐世保市及び長崎県の施設の管理運営を行った。

また、これらの目的を達するため体育施設管理士、体育施設管理運営士の資格取得を行った。

- ・安全で安心して使える施設の提供
- ・快適な施設環境の提供
- ・公平・平等な管理運営
- ・利用者の声を反映した管理運営
- ・コスト縮減を意識した管理運営

(1) 佐世保市体育施設

- ①佐世保市体育文化館（体育室、コミュニティーセンター、駐車場）
- ②佐世保市総合グラウンド（陸上競技場、野球場、体育館、運動広場、庭球場、プール、アーチェリー競技場、ゲートボール場）
- ③佐世保市温水プール
- ④佐世保市東部スポーツ広場（ラグビーサッカー場、ソフトボール場、ゲートボール場）
- ⑤佐世保市北部ふれあいスポーツ広場（多目的広場、テニスコート、ゲートボール場）
- ⑥佐世保市小佐々地区体育施設
 - ・スポーツセンター（体育館）
 - ・海洋センター（体育館・プール）
 - ・海洋スポーツ基地
 - ・中央運動広場（グラウンド・テニスコート）
 - ・大悲観グラウンド
 - ・大悲観テニスコート

- (2) 長崎県体育施設
 - ⑦長崎県立武道館
 - ⑧長崎県立総合体育館県北トレーニング室
 - ⑨海洋スポーツ基地カヤックセンター
- (3) 学校運動場照明施設の受託（春日小学校・清水中学校・福石中学校・早岐中学校）
- (4) その他受託施設
 - 新公園テニスコート（光月町）

※管理の重点項目として

- ・芝生管理の徹底
- ・施設の安全確認の徹底

3. スポーツ振興の企画・運営について

(1) スポーツ教室、イベント、体力測定会の開催 ※（ ）の人数は募集定員
 スポーツ教室26教室、スポーツイベント2回、体力測定会2回を指定管理施設の空き
 スペースを活用し、各加盟団体等と連携を行い企画開催した。また、市内町内回覧や
 各小学校に募集ちらしを配布するなど広報に努め、スポーツの普及と発展を推進した。
 参加者は、968人と前年度の652人を上回った。

①スポーツ教室 26教室 599人

《総合グラウンド》

	(ア) ピラティス&エアロ教室	通年	12人(20人)
	(イ) 初心者アーチェリー教室	1期	13人(25人)
	(ウ) かけっこ教室	2期	121人(120人)
	(エ) キッズサッカー教室(U-6)	1日	91人(100人)
	(オ) キッズサッカー教室(U-8)	1日	53人(100人)
新規	(カ) 初心者太極拳教室	通年	14人(20人)

《体育文化館》

(ア) 初心者太極拳教室	通年	12人(20人)
(イ) チャレンジスポーツ塾	長期	14人(30人)

※夏季は小佐々海洋スポーツ基地で開催

(ウ) キッズハンドボール教室	1期	17人(30人)
(エ) キッズソフトバレーボール教室	1期	11人(30人)
(オ) キッズバドミントン教室	1期	10人(30人)

《温水プール》

(ア) 初心者水泳教室	1期	10人(20人)
(イ) ステップアップ水泳教室	1期	6人(20人)
(ウ) エンジョイ水泳教室	通年	34人(30人)

《小佐々スポーツセンター》

(ア) 健康教室 通年 15人(20人)

《小佐々海洋センター体育館・プール》

(ア) キッドピクス教室 通年 18人(20人)

(イ) 水泳教室(初級) 長期 33人(30人)

(ウ) 水泳教室(中級) 長期 35人(30人)

《小佐々海洋スポーツ基地開催教室》

(ア) チャレンジスポーツ塾 4日 人数は体育文化館の同教室に含む

《長崎県立武道館開催教室》

(ア) 初心者ピラティス教室 通年 9人(10人)

(イ) エアロビ教室 通年 6人(7人)

(ウ) ピラティス教室Aクラス 通年 5人(10人)

(エ) ピラティス教室Bクラス 通年 9人(10人)

(オ) 初心者太極拳教室 通年 19人(20人)

《長崎県立大学開催教室》

(ア) キッズテニス教室(高学年) 1期 11人(20人)

(イ) キッズテニス教室(低学年) 1期 21人(20人)

②スポーツイベント 2イベント 318人

《総合グラウンド》

(ア) 親子ふれあいスポーツ教室 1日 308人(300人)

《小佐々海洋スポーツ基地開催教室》

新規 (ア) ふれあいカヌーツーリング 3日間 10人(25人)

③体力測定会 2回 51人

《総合グラウンド》

新規 (ア) 市民体力測定会 1日 32人(50人)

《体育文化館》

(ア) 市民体力測定会 1日 19人(50人)

(2) 競技部会、専門委員会の開催について

○競技部会：加盟団体規程第10条の業務を遂行するため、年3回(4月、7月、3月)開催した。理事及び競技団体代表者で構成され、平成24・25年度の2年間の任期である。

- 【主な協議内容】
- ・事業計画、事業報告について
 - ・各委員会の報告について
 - ・規程(申し合わせ事項)の制定について など

○専門委員会：競技部会員が以下の4つの委員会に分かれ、それぞれ協議を行う。
少人数（10人程度）の会議のため、意見が出やすく活発な議論が出来た。

- ①総務委員会：部会が実施する事業に関し総合的調整を行い、部会の円滑な事業の実施を図ることを目的に年3回開催（4月、10月、1月）した。
- ②競技力向上：佐世保市における競技力の向上及び指導者の資質向上を図るとともに、
・医科学委員会 スポーツ医科学の見地からスポーツの振興を図ることを目的に、
3回開催（5月、6月、12月）した。
- ③生涯スポーツ委員会：佐世保市における生涯スポーツ並びに地域スポーツの普及・振興を図ることを目的に、年2回開催（5月、12月）した。
- ④財務委員会：本協会の事業に必要な資金を調達することを目的に、年1回（5月）開催した。

(3) 競技力向上事業

①優秀指導者育成事業として3競技団体（バスケットボール協会、テニス協会、剣道協会）へ助成を行った。

②ジュニア層の競技力向上事業として次の14競技団体へ助成を行った。

- | | | |
|-------------|---------------|-------------|
| 1. バレーボール協会 | 2. バスケットボール協会 | 3. ハンドボール協会 |
| 4. バドミントン協会 | 5. ラグビー協会 | 6. ソフトテニス協会 |
| 7. サッカー協会 | 8. 弓道連盟 | 9. 水泳協会 |
| 10. 体操協会 | 11. アーチェリー協会 | 12. 自転車競技連盟 |
| 13. 空手道連盟 | 14. ボウリング協会 | |

③特定競技選手強化事業として1団体（陸上競技協会）へ助成を行った。

④城島健司スポーツ普及支援事業（市受託事業）

城島健司氏から佐世保市にスポーツ振興のために寄せられた寄附金を活用し、ジュニアを対象とした大会を開催した4競技団体（バドミントン協会、ソフトテニス協会、サッカー協会、空手道連盟）へ助成を行った。

(4) スポーツ医・科学推進事業

スポーツ医・科学推進事業として、競技団体、小・中・高校の指導者やスポーツ少年団、総合型スポーツクラブ関係者、スポーツ推進員等に参加を呼びかけ7月に「熱中症予防と応急処置」、3月に「競技力を高めるためのメンタルトレーニング」のテーマで研修会を実施し、合わせて104人の参加を得た。

今後も競技部会での意見を聞きながらテーマを選定し、本市におけるスポーツ医科学の普及を推進する。

(5) 指導者育成事業

地域でのスポーツ活動を活性化させ、多様なニーズに応えられる指導者の育成や、大会運営に不可欠な審判の資格取得のため10競技29人に助成を行った。（前年度は11競技39人）

①公認スポーツ指導者・・・・・・・・16名

②公認審判員・・・・・・・・13名

(6) 市民体育祭の開催（市受託事業）

加盟競技団体、スポーツ推進委員協議会、スポーツ少年団、佐世保市消防音楽隊の協力により10月7日に陸上競技他28競技9,137人の参加のもと市民総参加のスポーツイベントとして開催した。今年度から、レクリエーションの部（市レクリエーション協会主催）も市民体育祭に加わり、総合開会式を合同で開催した。

平成22年度27競技8,722人、平成23年度28競技9,084人参加と少しずつであるが増加している。

(7) 長崎県民総スポーツ祭（長崎県民体育大会）派遣補助事業

平成24年度は県央地区を主会場に開催され、佐世保市を代表して出場する選手・監督764名（27競技）に対して交通費宿泊費の一部を補助し、参加料（1人500円）を全額負担した。〔前年度は836人（26競技）〕

(8) 広報活動の推進

① 体協独自のスポーツ情報誌佐世保市体協だより 「ダッシュ!!」を3月に13,000部（前年度も13,000部）発行し作成し、町内回覧や体育施設、学校等へ配布を行った。

② 佐世保市民スポーツ情報サイト「PLAY!」によりスポーツ教室、イベント案内、事業報告等の情報公開、佐世保市選手の活躍、市民体育祭結果など旬のスポーツ情報を広く発信した。なお、市スポーツ少年団・市スポーツ推進委員協議会・市スポーツ振興課と共同運営する「PLAY!」の企画・管理・運用を当協会が主体となり実施した。

年間アクセス件数は約410,000件にのぼり、前年度より10,000件程増加した。

③ スポーツ教室等のちらしを各町内会に回覧をお願いし、併せて各小学校にも児童への配布を依頼した。（各2回）

前年度より市内の町内回覧を1回増やして2回とし、年度途中の参加募集を呼び掛けた。

④ ホームページバナー広告を掲載できるように改善し、募集を行った。

(9) スポーツ少年団事務局

当財団加盟競技団体との連携や佐世保市スポーツ少年団本部及び指導者協議会事務局の円滑な運営を実施し、各種イベントに積極的に参加した。

① 団・団員の状況：21団、390人

② 指導者の状況：98人

③ 会議の開催：指導者協議会理事会2回、総会1回

④ 主な事業

(ア) 市スポーツ少年団オリジナルシャツ販売

(イ) 佐々・佐世保地区軟式野球交流大会

(ウ) サマースポーツ交流会（日本スポーツ少年団創設50周年記念事業）

(エ) 市民体育祭開会式協力

(オ) ボランティア活動※雨天中止（日本スポーツ少年団創設50周年記念事業）

(カ) 市スポーツ少年団指導者研修会

(キ) 市スポーツ少年団表彰式・交流会

(ク) 県・九州競技別交流大会等派遣事業（のべ11団）

⑤課 題

(ア) 少子化や子どものスポーツ離れによる団員の減少

(イ) 市スポーツ少年団主催事業（交流会・ボランティア等）に対し、登録チームの参加が少ない。スポーツ少年団の活動理念を理解してもらうよう、登録チームへ根気強く説明していくことが必要である。

(10) スポーツ表彰事業

佐世保市におけるスポーツ功労者並びにスポーツにおいて優秀な個人及び団体の表彰を行いスポーツの振興を図ることを目的として表彰を行っており、平成24年度の表彰式を2月に開催した。

審査はスポーツ表彰選考内規に基づき総務委員会で行い受賞者は次のとおりであった。

- ①体育功労賞 7人
- ②スポーツ優秀賞 個人28人、団体10人
- ③体育優良団体 2団体

(11) 自主財源の確保の取り組み

平成23年度から5ヶ年の事業計画をもとに始めた自主財源確保の取組について加盟競技団体、関係機関、取引企業、市民など多方面にご理解とご協力をお願いし、徐々にではあるがスポーツ活動支援の輪が広がりつつある。

今後は、支援の輪をさらに拡大できるよう加盟競技団体等と具体策を検討していくこととしている。

- ①賛助会員会費 法人 116団体 個人 474人
- ②市民体育祭総合プログラム広告 57件
- ③スポーツ表彰プログラム広告 14件
- ④そうめん販売 512個
- ⑤ホームページバナー広告 1件
- ⑥自動販売機設置 6台
- ⑦グラウンドライン用炭酸カルシウム販売 854袋

(12) 新たな取組

- ①新たな取組として東部スポーツ広場体育館、佐世保市吉井地区体育施設の管理運営についてワーキンググループを編成し検討した。
- ②指定管理者としての信頼を確固なものにするため全施設において業務マニュアルを作成した。
- ③親子のふれあい、海洋スポーツ基地及び海洋性レクリエーションの普及のため、海洋スポーツイベント（ふれあいカヌーツーリング）を実施した。
- ④新たな自主財源の確保のためバナー広告掲載スペースの設置を行った。

(13) 競技団体関係の事業報告

事業内容については、

別紙「平成24年度（公財）佐世保市体育協会事業報告書」（競技団体関係）参照